

第11回定例岡山県教育委員会議事録

1 日 時 令和6年10月18日(金)
開会13時30分 閉会14時34分

2 場 所 教育委員室

3 出席者 教育長 中村 正芳
委員(教育長職務代理者) 田野 美佐
委員(教育長職務代理者) 梶谷 俊介
委員 松田 欣也
委員 上地 玲子
委員 服部 俊也

教育次長 國重 良樹
学校教育推進監 室 貴由輝
教育政策課 課長 小林 伸明
副課長 中江 岳
総括副参事 滝澤 容彦
高校教育課 課長 鶴海 尚也
高校魅力化推進室 室長 藤原 紳一

4 傍聴の状況 0名

5 附議事項

- (1) 岡山県教育関係功労者表彰について
- (2) 令和7年度県立高等学校第1学年募集定員の策定について

6 協議事項

- (1) 令和7年度重点事業について

7 報告事項

- (1) One Young World グローバルサミット2024への生徒派遣の概要について

8 その他

9 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、附議事項（１）は表彰案件であること、協議事項（１）は、今後、知事、議会との協議を要するものであることから、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。附議事項（１）協議事項（１）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

附議事項（２）令和７年度県立高等学校第１学年募集定員の策定について

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

(松田委員)

真庭高校看護科の今年度入学者は何人なのか。

(高校魅力化推進室長)

入学者は２０名である。

(松田委員)

近年、県北にも専門学校ができています。今後も定員割れが解消されることは難しいのではないかと思います。

(高校魅力化推進室長)

ここ数年定員割れをしており、今後も厳しい状況が続くと思う。

(教育長)

これより採決に入る。議第１７号について原案のとおり賛成の委員の挙手を願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第17号は、原案のとおり決した。

報告事項(1) One Young World グローバルサミット 2024 への生徒派遣の概要について

・ 高校教育課長から資料により一括説明

(委員)

成果報告会を実施するとのことだが、様子を YouTube 等にアップして、成果報告会に参加できなかった生徒も常時見えるようにしてはいかかがか。

(高校教育課長)

前向きに検討したい。

(委員)

日本で行われる似たようなイベントへの派遣や、そうしたイベントを岡山で開催するような発想はないのか。

自分なりにテーマを持って様々な企業が行っているイベントへ派遣するサポートがあってもいいのではないか。高校生以外と話し、異なる世代と交流することは非常に良い気付きがあるのではないかと思う。

(高校教育課長)

先ほど申し上げた夢育ネットワーク事業の中の Well-being サミットが適している。今年度については、その運営も高校生に担ってもらおうと準備を進めているところである。

また、外部と連携し、様々な場面を創出していきたい。

(委員)

行きたいと思っている生徒の派遣費用を一部でも補助してもいいのではないか。

1人を海外に派遣する費用があれば、かなりの高校生を近隣に派遣できるのではないか。

先ほどの夢育ネットワーク事業で高校生を主体としながら、大学生と一緒に取り組むような場を作ってほしい。

(教育長)

One Young World に参加した人はアンバサダーと言われ、日本各地で活躍されている。

アンバサダーの方たちをお願いして、高校生と交流する企画を2年前に実施したが、アンバサダーの方にも非常に喜ばれた。そういったことでは今年度からでも実施できる。また One Young World Japan という日本支部のようなものがあり、そこでは高校生向けのフォーラムを実施している。このフォーラムは希望すれば参加できるので、参加する機会を設けることも良いかもしれない。

(高校教育課長)

今回派遣した生徒も事前に One Young World Japan の壮行会に参加し、アンバサダーの方から様々なアドバイスをもらった。異なる世代との交流は本人にとって非常に有効なものであると思う。

(委員)

有効なものであるからそれを1人にさせるのではなく、より多くの高校生ができるように場をどのように作るのか、そこに参加をした人から得た知識をより多くの人を経験できるような場をどのようにして作ってサポートしていくのかをぜひ検討してもらいたい。

(委員)

アンバサダーはどのような仕事をされているのか。

(高校教育課長)

様々な職業に就かれている。大手広告代理店に勤務されていたり、自ら事業を立ち上げられていたりしている。

(委員)

写真を拡大すると大人しかいない。自分も他のイベントで高校生を見てきているが、大人としっかりと話ができる。派遣した生徒が当日夢の話をしたと紹介があったが、外国人と話すときに、自分の国のホームタウンについて情報交換して、交流を深めていくことがよくある。実際に派遣した生徒が自分のホームタウンを紹介したのか気になるが、知る手段はなにか用意しているのか。

(高校教育課長)

レポートや報告書にまとめてもらいたいと考えている。派遣した生徒は、自分自身が受けてきた教育に思いがあり、そのことから、イベントでは、参加者への夢についての質問につながったようだ。

(委員)

進路が決まったあと、教育委員会に来て、体験等を聞かせてほしい。

(高校教育課長)

前向きに検討したい。

(委員)

彼女が感じている教育の課題を我々が聞くことによって、どのように是正するか考えられる。それが、成果をより多くの人に還元することになるのではないか。

(教育長)

生徒が表敬訪問に来てくれたが、そこで会議の最後に夢を記入してリボンにし、それを地球の形にするイベントがあり、それが良く岡山でもやりたいと言っていた。県教委で夢育を実施しているが、アウトプットのイベントは多く実施しているが、アウトカムの部分がない。例えば高校生が夢を語るイベントを派遣した生徒にやってもらうようなことも面白いのではないかと思う。

以下、非公開のため省略

閉会